

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
1	24	すこやか・ともしびまつり	「健康でふれあいのあるまちづくり」の実現のため、福祉施設や団体の活動紹介や作品・成果発表、参加体験コーナー等の実施を通し、広く市民に福祉と健康づくりの理解を呼びかけるイベントを開催	福祉総務課	<p>【実績】                      実行委員会にて実施                      9月17日(土)、18日(日)実施                      来場者数 約7,500人                      参加団体数 30団体</p> <p>【評価】                      新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となったが、合計30団体の参加により、活動紹介や体験コーナー等のさまざまな催し物を通して幅広い層の関心を集めることができ、より多くの人の福祉意識を啓発できた。                      「すこともWEB美術館」では新たに20事業所を追加公開し、引き続き市民が福祉に触れるきっかけ作りに寄与することができた。</p>
				社会福祉協議会	
2	24	ともしび運動ポスター展	小学3年生から中学生を対象に「ともしび運動」に関するポスターを募集 入賞作品はコミュニティセンターや学校等に巡回展示するとともに、ともしび運動リーフレットやポスターに活用	福祉総務課	<p>【実績】                      H19年度から支所地域にも募集                      応募点数 小学生677点、中学生12点                      学校やコミュニティセンター等9か所で入賞作品の巡回展示を行った。</p> <p>【評価】                      合計689点の応募があり、児童の福祉に対する理解と関心を高めることができた。</p>
				社会福祉協議会	

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
3	24	ともしび運動リーフレット・ポスター作成	「ともに生きる社会」の啓発広報としてリーフレット及びポスターを作成・配布	福祉総務課 社会福祉協議会	【実績】 リーフレット 8,600枚 ポスター 370枚 作成・配布 【評価】 市関係機関、学校、企業等に配布し、ともしび運動の普及・啓発に活用された。
4	24	障害者理解促進講座	障害のある人に対する理解を深め、ともに生きる地域づくりを進めるための講座等を開催	福祉課	【実績見込み】 障害者理解促進講座 4回開催 91名 【評価】 地域共生社会の実現に向けて、各地域の関係機関と連携しながら、地域住民や民間企業への障害者理解の普及・啓発を促進できた。
5	23	アール・ブリュット作品展	障害及び障害のある人の独創的な作品の展示を通じて、独自の感性や作者の日常・暮らしを知ってもらうことで、障害や障害のある人への理解を深める機会を創出	福祉課	【実績】 ・市有施設2箇所で23点の作品を常設展示した。 【評価】 アオーレ長岡を中心に気軽に周遊できるよう、凝縮した展示を行った。アオーレ長岡1階シアター脇と福祉のカフェテリアでは、作家それぞれの独創的な世界観を味わうことができ、3階オープンテラスでは高さ2mに及ぶアート三角柱を設置することで、アオーレ長岡全体がアート空間に包まれた。展示を通して市民の障害者に対する関心を高める機会となった。
6	26	家庭教育活動事業	幼児から小学生の保護者を対象に開設する家庭教育講座の中で、福祉についてのテーマにも取り組む	保育課	【実績】 補助対象園 33園 (40回) 【評価】 「命」や「子どもとの関わり」をテーマとした講座を受講した保護者からは、愛着関係の大切さを改めて実感したという声が聞かれた。

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
7	26	福祉読本の作成配付	児童の福祉に対する理解を深め、「思いやり、助けあい」の心を育成するために、小学3年生を対象とした福祉読本を作成・配布	福祉総務課 社会福祉協議会	【実績】 教師用 380冊 児童用 2,730冊 作成・配布 平成28年に全面改訂を行い配布した。 【評価】 約9割の小学校が活用しており、児童が福祉に対する理解を深めるきっかけとなった。
8	26	長岡市社会福祉協力校指定事業	市内小・中・特支・高校・高等専門学校の児童・生徒を対象に体験学習の機会を提供することにより、福祉に対する理解と関心を高めるとともに「思いやりの心」を醸成	社会福祉協議会	【実績】 小学校…56校 中学校…28校 特別支援学校…4校 高等学校…12校 高等専門学校…1校 壁新聞を年6回、実践集録を年1回発行した。 【評価】 各校では、コロナ禍においても、学校や地域の実態に即して福祉施設訪問や地域・学校の美化活動、世代間交流など、様々な福祉教育に取り組んだ。児童生徒の発達段階に応じた意図的で計画的な福祉教育を実践することで、「おもいやりの心」が醸成されるとともに、「ともに生きる社会」の実現に向けた資質形成にもつながった。
9	26	福祉教育ライブラリー整備事業	特別支援教育や療育等福祉教育に関する書籍・ビデオ等を教育センターライブラリーに整備し、有効活用	学校教育課	【実績】 (貸出状況) 視聴覚教材：DVD28本整備 貸出10件 書籍：631冊整備 貸出165件 【評価】 特別支援教育や福祉教育に関するDVD教材及び書籍を整備するとともに、それらの利活用について広報を行い、教職員等に貸し出すなど有効活用を図った。

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
10	29	乳幼児健康診査事業	乳幼児期の各節目にすこやかな成長の確認と発達の遅れや障害の早期発見を図るとともに、基本的な生活習慣の確立に向けて育児相談を実施し子育てを支援	子ども・子育て課	乳幼児健康診査実施 ・4か月児健診 1,563人 ・5～7か月児乳児健康相談 1,502人 ・10か月児健診 1,557人 ・1歳6か月児健診 1,584人 ・3歳児健診 1,713人
11	29	健康診査事業及び後期高齢者健康診査事業	19～39歳及び後期高齢者を対象に、生活習慣病の早期発見を目指した健康診査を実施し、循環器疾患や糖尿病等に起因する障害状態になることを予防	健康増進課	【実績】 ・健康診査 (19～39歳及び生活保護被保護者) 受診者数1,517人 受診率9.3% ・後期高齢者健診 (後期高齢者医療制度加入者) 受診者数12,416人 受診率29.7% 【評価】 19～39歳及び生活保護被保護者の受診率は増加した。後期高齢者健診においても受診率は増加した。今後も継続した啓発や受診環境整備を行い、受診者を増やしていく必要がある。
12	29	特定健診・特定保健指導等事業	40歳から74歳の医療保険加入者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導等の事後指導に取り組み、糖尿病等生活習慣病の有病者・予備群の減少を目指し、疾病に起因する障害状態を予防	健康増進課	【実績】 ・特定健診(40～74歳国保加入者) 受診者数16,212人 受診率36.5% ・特定保健指導(40～74歳国保加入者) 動機付け支援 利用者数 446人 利用率 41.6% 積極的支援 利用者数 82人 利用率 31.2% 【評価】 特定健診の受診率は増加した。今後も継続した啓発や受診環境整備を行い、受診者を増やしていく必要がある。特定保健指導は、受診勧奨・訪問指導により、利用率は増加した。

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
13	31	精神障害者医療費助成	精神疾患の治療について、医療費自己負担の一部を助成	福祉課	<p>【実績】                      受給者数 3,558人                      申請件数 37,215件                      助成額 50,003千円</p> <p>【評価】                      受給者数が増加しているため、自立支援医療（精神通院）受給者への案内や市政だよりへの掲載による効果があったと考えられる。引き続き制度周知を図っていく。</p>
14	33	生活習慣病予防対策事業	健康診査の結果等により、健康管理上指導が必要と認められる人とその家族に対し、健康教室や訪問等で保健指導を実施	健康増進課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健康相談                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合健康相談 開催回数83回 相談延人員559人</li> </ul> </li> <li>●CKD・糖尿病性腎症等栄養指導 参加延人数237人</li> <li>●生活改善プログラム 参加延人数49人</li> <li>●訪問指導 訪問延人数1,690人</li> </ul> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康相談では、健診結果や健康に関する悩み・心配ごとを解消できるよう相談に応じた。また必要時、医療機関や他の相談会、地区担当へ紹介した。</li> <li>・CKD・糖尿病性腎症等栄養指導、生活改善プログラムでは重症化リスクの高い対象者へ個別指導を実施し自己管理の質を高められるよう支援した。</li> <li>・訪問指導では、主に健診後未治療者、特定保健指導未利用者、生活習慣病治療中断者、特定健診未受診者、糖尿病性腎症重症化予防該当者について、受診勧奨や生活習慣の改善ができるよう支援を行った。</li> </ul>

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
15	33	地域保健活動強化事業	保健師の地区担当制により、地区の関係者・機関との連携を図りながら相談体制を充実	健康増進課	<p>【実績】 健康増進課分 訪問延件数・・・717件 電話、来庁延件数・・・1,262件 新型コロナウイルス関連相談・・・488件見込</p> <p>【評価】 各圏域で高齢、障害の各関係機関との連携協議を実施し、相談支援体制を強化している。新型コロナウイルス感染対策に保健師が従事し地区活動としての訪問実施は減少。</p>
16	33	コミュニティ健康づくり推進事業	市民が主体的に健康の保持増進が図れるように、地域において健康講座、健康相談を実施	健康増進課	<p>【実績】 地域における健康講座・健康相談 開催回数 212回 延べ参加人数 5,150人</p> <p>【評価】 地域の課題に応じた健康教室・相談会を開催することで、健康づくりの推進を図ることができた。</p>
17	33	こころの健康相談	こころの不調、アルコール依存やうつ状態等悩みや生きづらさを抱えている人に対し、臨床心理士・保健師等が窓口・電話相談や個別相談会を実施するもの	健康増進課	<p>【実績】 ●来所・電話相談 延1,498件 ●こころの健康相談会 開催回数47回 相談延人数77人</p> <p>【評価】 来所・電話相談、相談会の実施により、こころの不安や悩みの軽減、受診につながった。</p>
18	36	子ども発達相談室の充実	早期相談体制の充実、関係機関との連携	子ども家庭センター	<p>【実績】 相談延人数 1,507人</p> <p>【評価】 ・初回相談は、親子面接を行い、保護者一人ひとりの不安や悩みに寄り添う相談支援により相談機関として充実を図った。 ・気軽に相談できる場として、子育ての駅等で出前相談会を実施することにより、早期に相談しやすい体制の整備をはかることができた。 ・就学時健診後の相談の流れについて、学校教育課・学務課と連携し、よりスムーズな相談対応を行うことができた。</p>

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
19	36	療育体制の整備	長岡市障害者自立支援協議会及び長岡市子ども・子育て会議の積極的な活用	福祉課	<b>【実績】</b> ○長岡市障害者自立支援協議会 全体会 2回開催 運営会議 5回開催 相談体制部会 4回開催 就労部会 9回開催 地域づくり部会 5回開催 相談支援部会 10回開催 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム協議の場 6回開催 サービス受け皿検討部会9回開催  <b>【評価】</b> 協議会の各会議の中で、福祉分野と子育て分野の情報共有を実施したほか、療育も含めて適切な機関や福祉サービスにつなげるための相談支援体制について検討を行った。
				子ども家庭センター	
				子ども・子育て課	
20	36	特別な支援が必要な子どものサービスの充実	居宅介護、短期入所、日中一時支援事業、放課後サポート事業の利用促進	福祉課	新型コロナウイルスの影響で利用が計画を下回ったサービスが多かった。  <b>【実績】</b> 障害児通所支援及び障害児相談支援給付費等対象者延人数62,574人 <b>【評価】</b> 障害児通所支援事業に関するチラシの作成やホームページへの掲載、総合支援学校における保護者向けサービス説明会への参加等によりサービスの周知を図り、例年利用実績が増加している。
			児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援、障害児相談支援の利用促進	子ども家庭センター	

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
21	36	障害児保育の充実 (特別支援教育・保育事業)	保育園の入園を希望する特別な支援が必要な子どもの受け入れ体制の整備	保育課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、認定こども園に対して、下記①～⑤に該当する児童について、保育士等の加配に必要な人件費を補助</li> <li>①特別児童扶養手当支給対象児童：8人</li> <li>②軽度障害児（手帳・診断あり）：46人</li> <li>③気になる子（障害の疑い）：5人</li> <li>④児童発達支援事業利用児童：6人</li> <li>⑤市独自の個別状況調査により該当：60人</li> </ul> <p>※令和4年度から上記④・⑤を補助対象児童として追加した他、対象児童の受け入れに必要な教材の購入費、要配慮児への対応力向上のための研修費を、補助対象経費として追加・拡充した。</p> <p>【評価】</p> <p>保育園、認定こども園への入園を希望する障害のある子の受入体制を充実することができた。</p>
22	36	私立幼稚園等障害児教育費補助事業	幼稚園等における特別な支援が必要な子どもの受け入れの推進	保育課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園への補助 0園</li> </ul> <p>※令和3年度まで学校法人立の認定こども園に対して国・県の私学助成の上乗せ補助として実施していたものを、令和4年度から上記「特別支援教育・保育事業」に移行したことで、補助対象施設である私立幼稚園が1園のみになった。</p> <p>【評価】</p> <p>補助対象施設での障害児の受け入れが無かった。</p>
23	36	こどもすこやか応援事業	配慮を要する児童を早期に気づき、児童・保護者のニーズに応じた就学前から就学後まで一貫した相談・支援の実施	保育課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援児童数 192人</li> <li>・すこやかファイル新規所持者数 111件</li> <li>・すこやかファイル年長児所持者数 100件</li> </ul> <p>【評価】</p> <p>保育園等と連携し配慮を要する児童への適切な対応について相談支援を行った。相談支援ファイル（すこやかファイル）を活用し、学校と情報を共有することでスムーズな就学への移行が行われた。</p>



第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
24	39	特別支援学級教育環境整備事業	特別な教育ニーズに合わせた設備の整備及び教育の改良	教育施設課	<p>【実績】 小学校3校及び中学校2校実施 (特別支援教室施設設備改修等)</p> <p>【評価】 特別支援学級の教育環境の充実を図ることができた。</p>
25	39	肢体不自由特別支援学級設置校の移動設備整備	肢体不自由児童・生徒の移動のための設備の整備	教育総務課	<p>【実績】 対象の児童・生徒がなく、階段昇降機の利用実績なし。</p> <p>【評価】 市で階段昇降機を3台保有しており、必要時に点検・修繕等を行い、貸し出しの支援をする体制がある。</p>
26	39	長岡市立総合支援学校・高等総合支援学校放課後サポート事業	平日の授業終了後及び長期休業日に、総合支援学校の施設を利用して同校に在籍している児童・生徒の一時預かり	福祉課	<p>【実績見込み】 開設日数 215日 年間利用延べ人数 1,405人</p> <p>【評価】 新型コロナウイルス感染症拡大以降、数値は減少が続いているが、令和4年度に実施した放課後サポート事業利用者向けアンケート調査では、一定数の需要があることが確認できた。</p>
27	42	障害者雇用促進事業	就労支援推進員が、施設・企業を訪問し、障害者一人ひとりの特性に合わせた企業とのマッチングを支援するとともに、企業に対して障害者雇用の促進を周知、啓発	産業立地・人材課 人材働き方政策室	<p>【実績】 118社訪問(うち支援機関等へ連携約84社)</p> <p>【評価】 求人のある企業を中心に訪問し、障害者雇用の促進に努めた。</p>

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
28	42	長岡市障害者多数雇用事業者からの物品等の調達制度	市が物品購入や役務の提供などを契約する場合、障害者多数雇用事業者として登録されている事業者から積極的に調達	産業立地・人材課 人材働き方政策室	<p>【実績見込み】 登録事業者数 9社</p> <p>【評価】 今年度決算後に集計するため現時点での実績は不明。次年度から登録事業者数は増加の見込み。</p>
29	42	障害者職場実習支援等就労促進事業	市役所福祉課内での職場体験実習の実施、企業実習支援のためのジョブサポーター（実習を受け入れた企業に出向き、直接指導を行う者）の派遣、その他職場体験実習終了者のフォローアップ、就労後の定着支援等を実施	福祉課	<p>〈市役所実習〉</p> <p>【実績】 市役所実習を希望するもので以下のいずれかに該当するものを対象に実施 ・市内の就労支援施設利用者 ・市内に住所を有する障がい者就業・生活支援センター登録者（手帳を所持していない発達障害者を含む） ・長岡市立高等総合支援学校生徒 ・新潟県立長岡聾学校生徒 延べ実施日数323日、延べ利用者数27人</p> <p>【評価】 一般企業等への就労を目指す障害者に、事務作業や職業生活で求められるルール、マナーを体験実習する場を長岡市役所福祉課内で提供し、職業能力及び社会性の向上を支援することができた。今後も事業を継続していく。</p> <p>〈企業実習〉</p> <p>【実績】 申込件数 13件 実利用者 13人</p> <p>【評価】 実習受入企業にジョブサポーターを派遣し、企業の不安軽減と、障害者本人の課題の明確化や解決方法を一緒に考えることでスムーズな実習の実施につながった。また、企業が実習生1人につき1人の指導担当者を配置するケースも増えてきており、障害者が働きやすい環境づくりが進んでいる。</p>

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
30	42	障害者ワークステーション運営事業	障害者を市役所で1～3年間雇用し、その経験を活かして、一般企業等への就職へとステップアップを目指す	福祉課	<p>【実績見込み】 令和5年1月と3月にそれぞれ職員1名ずつが一般企業に就職したことを受け、令和5年度に新規職員を2名採用予定。</p> <p>【評価】 令和4年度は一般企業へ就職することができ、障害者雇用促進に助力することができた。 アオーレ長岡ナカドマの除菌作業などを通して、多くの市民から障害者が働く様子を見てもらい、障害者雇用の理解促進につながった。</p>

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
31	44	相談サービスの充実	委託相談支援事業所、計画相談支援事業所による相談の充実	福祉課	<b>【実績】</b> 障害者相談支援事業所 5箇所 (相談支援専門員 11人、サポート職員 7人) <b>【評価】</b> 障害者相談支援事業として約10,000件の相談対応を行った。病院等からの地域移行や触法ケースなど、困難ケースの相談は引き続き増加する見込みである。今後も、市域全体の相談支援体制の充実に向けた体制整備を図っていく。
			障害者基幹相談支援センターによる人材育成・相談支援専門員等へのサポート		<b>【実績】</b> 相談支援研修会 3回開催 事例検討会 5回開催 気軽な勉強会 5回開催 相談支援専門員等へのサポート 478回実施 <b>【評価】</b> 相談支援従事者のキャリアパスに基づいた研修会及び発言しやすい環境での勉強会を開催した。そのほか、対応困難事例に関わっている相談支援専門員等のサポートを行った。
			「長岡市障害者自立支援協議会」の積極的な活用(相談支援体制の検証・検討)		<b>【実績】</b> ○長岡市障害者自立支援協議会 全体会 2回開催 運営会議 6回開催 相談体制部会 4回開催 就労部会 9回開催 地域づくり部会 5回開催 相談支援部会 10回開催 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム協議の場 6回開催 サービス受け皿検討部会9回開催 <b>【評価】</b> 指定特定相談支援事業所、委託相談支援事業所、基幹相談支援センターによる重層的な相談体制の構築のため、それぞれの役割の再確認と検証を実施した。今後は、この体制を機能させる方策について検討を進めていく。

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
32	44	福祉窓口の充実	手続・申請内容の拡充	福祉課	<p>【実績】 R5年4月約360メニュー</p> <p>【評価】 対応業務数・対応件数は年々増加傾向にある。各種業務の制度拡充や多様化する状況等に合わせて窓口で受け付け体制を整えている。</p>
33	49	地域福祉・在宅福祉サービス事業（ボランティア銀行）	サービスを必要とする人を「利用会員」、サービスを提供する人を「協力会員」として活動する住民相互の助け合いの事業	社会福祉協議会	<p>【実績見込み】 延べ利用者数：525人、総利用回数：1,538回</p> <p>【評価】 新型コロナウイルス感染対策の上、買い物代行、住居の掃除などの生活支援活動を行った。また、降雪量が多く、玄関前等の簡易な除雪作業に対するニーズが高かった。</p>
34	49	福祉送迎サービス事業	単独での移動が困難な高齢者や障害のある人等を対象に、医療機関へ自家用車による通院送迎を行う事業	社会福祉協議会	<p>【実績見込み】 延べ利用者数：2,125人、総利用回数：2,123回</p> <p>【評価】 新型コロナウイルス感染対策の上、医療機関への送迎活動を行った。また、運転会員向けの研修では新たにシミュレーターを活用するなど、安全運転の啓発に努めた。</p>
35	49	小地域ネットワーク活動事業	おおむね75歳以上のひとり暮らし高齢者等で援助が必要と思われる人に対し、地域内の住民による定期的な訪問、声かけ等で見守りを行う活動	社会福祉協議会	<p>【実績見込み】 対象世帯数：645世帯、構成員数：527世帯、</p> <p>【評価】 定期的な訪問、声かけにより、安心して暮らすことのできる地域づくりに寄与することができた。</p>

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
36	51	ボランティア大学 ・基礎講座 ・初心者講座 ・傾聴講座	ボランティア活動への意識啓発及び基礎的知識、技能の習得並びに、市民の意識高揚の推進	社会福祉協議会	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア大学基礎講座 開催回数11回、参加者数23人</li> <li>○ボランティア大学公開講座 開催回数1回、310人</li> <li>○初心者（フォローアップ）講座 開催回数26回、参加者数29人 (内訳) <ul style="list-style-type: none"> <li>・点訳：8回、参加者数4人</li> <li>・要約筆記：4回、参加者数4人</li> <li>・音声訳：8回、参加者数3人</li> <li>・手話：6回、参加者数14人</li> </ul> </li> <li>○コミュニケーション講座 開催回数3回、参加者数30人</li> <li>○傾聴講座 開催回数2回、参加者数49人</li> </ul> <p>【評価】</p> <p>様々な角度からボランティア活動の基礎的な知識、技能を学ぶことで、福祉ボランティアに対する理解、実践力が深まるとともに、活動の幅が広がった。</p>
37	51	運転ボランティアの参加啓発活動	福祉に貢献したい人たちに幅広い活動への意識醸成を図り、運転ボランティアにも目を向けてもらうための啓発を推進	福祉課  社会福祉協議会	<p>【実績】</p> <p>利用件数：567件</p> <p>【評価】</p> <p>ハート・カーの運行件数は、新型コロナウイルス感染症及び大雪等の天候の影響により減少傾向だった。</p> <p>依然として潜在的需要はあるため、今後も安定した事業運営ができるよう継続的にボランティア活動への意識啓発に努める。</p>

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
38	51	ボランティアセンターの運営	総合的なボランティア情報の収集に努め、積極的に発信することで、ボランティアのマッチングを推進	福祉総務課	【実績】 相談件数：579件 【評価】 ボランティア推進に関する情報収集と蓄積に努め、幅広い分野の情報提供と専門性の高い相談に対応した。
				社会福祉協議会	
38	51	ボランティアセンターの運営	ボランティアに関する教育・研修を実施し、ボランティアに携わる人材の育成や市民の意識醸成を推進	福祉総務課	【実績】 ○夏休み！おもちゃドクター親子体験講座 開催回数：1回、9組・17名 ○青少年ボランティア体験講座 開催回数：10回、延べ58名 ○ボランティアトークカフェ 開催回数：1回、13名 【評価】 幅広い世代の方々がボランティアに触れるきっかけとなり、市民のボランティアによる自己実現や社会参加の意欲が高まった。
				社会福祉協議会	
39	53	意思疎通支援者の派遣	手話奉仕員の養成と手話・要約筆記通訳者等の派遣の実施	福祉課	【実績】 手話通訳 568件 要約筆記 13件 【評価】 聴覚障害者の意思疎通に必要な不可欠な事業のため、引き続き支援を行う。ワクチン個別接種への派遣も行った。マイナンバー関連の派遣が増加した。
40	53	手話通訳者の福祉窓口への配置	市役所における手話通訳者の常時配置	福祉課	【実績】 設置日数243日 来庁者数474人 【評価】 市役所での手続き支援のほか、日常生活上の相談、特にマイナンバー関連の相談が増加した。引き続き、手話通訳員を配置して気軽に相談できる体制を継続する。

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
41	53	声の広報等発行事業	市政だより等の文書の概要を録音し、視覚障害のある人(希望者)に提供	福祉課	<p>【実績見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者ハンドブック「ともに生きる」の音声コード化と音声認識データでの情報提供を実施。</li> <li>・声の市政だよりの送付を行っている(R4送付対象者 64世帯)。</li> </ul> <p>【評価】</p> <p>利用者の利便性向上を図るため、引き続き、音声による情報提供を図っていく。</p>
42	53	点字広報等発行事業	市が発送する通知文等を点訳し、視覚障害のある人(希望者)に提供	福祉課	<p>【実績見込み】</p> <p>市政だよりと同時に配布される文書について点訳を行い対象者に送付を行っている(R4送付対象者 8世帯)。</p> <p>【評価】</p> <p>利用者の利便性向上を図るため、引き続き、点字による情報提供を図っていく。</p>
43	55	ハンディスポーツ・レクリエーション講習会	パラスポーツ・レクリエーション活動の普及を図るため開催	福祉課	<p>【実績】</p> <p>11月16日、11月30日に開催 参加者数 9人(延べ人数15人) 地域や施設などでの障害者スポーツの普及、人材育成を目的として実施している。</p> <p>【評価】</p> <p>指導者養成及び交流の場として、障害者スポーツの普及を図るため、今後も継続して行っていく。</p>
44	55	ふれ愛スポーツのつどい	障害のある人の社会参加と、市民の障害への理解促進を図るため、障害の有無にかかわらず誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションイベント「ふれ愛スポーツのつどい」を開催	福祉課	<p>【実績】</p> <p>2月4日に開催 参加者数 33人</p> <p>【評価】</p> <p>参加者は昨年度と比べて増加した。障害のある人の社会参加と障害者スポーツの普及を図るため、今後も継続して行っていく。</p>



第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
45	55	障害児者のための水泳教室・ハンディテニススクール	障害のある人の身体機能の向上を図るため、水泳・テニスの教室を開催	福祉課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳教室 例年6～7月の連続した週の土曜日に計5回開催しているが、令和4年度は感染症拡大防止の観点から中止した。</li> <li>・ハンディテニス 10～11月の連続した週の水曜日に計5回開催。 参加者数 22人（延べ人数97人）</li> </ul> <p>【評価】</p> <p>参加者及びその保護者からも好評である。健康増進や社会参加の機会として、今後も引き続き実施していく。</p>
46	55	パラスポーツ競技力向上事業	パラスポーツの活性化と競技水準の向上のため、全国に通じる選手の育成支援	スポーツ振興課	<p>【実績】</p> <p>○パラスポーツ体験授業 講師：新潟WBC松川氏、県ブラインドサッカー協会 実施校：前川小、中島小ほか 計11校 参加者：児童・生徒423人 内容：車いすバスケットボール体験 ブラインドサッカー体験</p> <p>【評価】</p> <p>市内小学校等で多くの子どもにパラスポーツに触れる機会を提供したことで、同スポーツの活性化に寄与できたほか、将来的なパラスポーツの裾野拡大にも繋がることも期待できる。</p>

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
47	55	長岡市パラスポーツ協会(仮称)の設立	市民との協働による長岡市パラスポーツ協会設立の検討	スポーツ振興課	<p><b>【実績】</b>                      ○パラスポーツ普及イベント(3月18日開催)                      概要:長岡市スポーツ協会主催の「ながおかジュニアスポーツフェスタ」においてパラスポーツ体験ブースの出展                      対象:幼児から小学生と保護者                      内容:車いすバスケットボール、ボッチャ、ブラインドサッカー、フライングディスク</p> <p><b>【評価】</b>                      本市のスポーツ振興を担う長岡市スポーツ協会と共に、パラスポーツ関係団体と連携したことで、パラスポーツの現状や課題などを共有でき、設立に係る検討の一助になった。普及啓発から次の段階に進む足掛かりとしたい。</p>
48	56	ふれ愛コンサート	コンサートを通して、障害のある人となない人の「ふれあい」の場を提供し、障害のある人の文化活動の支援と社会参加を実現	福祉課	<p><b>【実績】</b>                      令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とし、過去のコンサートの様子をパネルで展示した。</p>
				社会福祉協議会	
49	60	市有施設の新設整備	建築設計基準に基づいた障害のある人や高齢者に配慮した市有施設の整備	各課施設	施設の設計時に配慮して整備
50	60	既存市有施設の改善	優先度が高い箇所から順次バリアフリー化に取り組む	各課施設	施設の設計時に配慮して整備

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
51	60	町内公民館の施設改造費の補助	町内会が障害のある人や高齢者の利用を考慮して行う既存の公民館、集会所の機能・設備の改造に要する経費の一部補助	市民協働課	【実績】 ・町内公民館のトイレの洋式化等に要する経費の一部補助を行った。 R4年度交付件数 4件 【評価】 ・町内公民館の利便性が向上した。
52	60	公園の新設整備 既存公園の改善	障害のある人の利用に配慮した公園の新設整備  障害のある人への配慮が不十分な既存公園を更新計画時に併せて改善	都市施設整備課	【実績】 悠久山公園内のトイレ2か所を改修した。 【評価】 公園を利用する市民の利便性が向上した。
53	61	住宅改造費の補助	個々の障害に対応した住宅の改造費補助	福祉課  介護保険課	【実績】 福祉課 住宅改造費助成件数1件 介護保険課 住宅改造費助成件数38件 【評価】 障害者及び高齢者の自立を支援するとともに、快適で安全な生活環境の改善を目的として引き続き実施していく。
54	64	バス停上屋の整備	公共公益施設等の周辺や乗り継ぎ拠点などの利用者の多いバス停の上屋整備  バス停の快適性、安全性を向上させるための上屋等の整備促進	都市政策課 (交通政策室)	【実績】 上屋設置補助金交付件数 1件 【評価】 申請のあった1箇所に対して補助金を交付し、バス待ち環境の改善が図られた。

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
55	64	環状バスの運行	利用者の多い公共施設等と駅を結ぶ環状バスの運行	都市政策課 (交通政策室)	<p>【実績】 中央環状バス ・内回り11便、外回り10便運行 宮内環状線 ・宮内環状線 内回り3便 外回り3便 ※土・日・祝日等は2便運行</p> <p>【評価】 利用状況調査等によりニーズを把握し、運行の見直しを行った。</p>
56	64	バス車両の改善	障害のある人、高齢者等が利用しやすいバス車両の導入促進	都市政策課 (交通政策室)	<p>【実績】 低床バス導入台数14台（内、市補助3台、交通事業者購入11台） R4年度末：長岡駅乗入台数157台中123台が低床バス（81.5%）</p> <p>【評価】 「長岡市交通バリアフリー基本構想」に基づき、長岡駅乗入台数の20～25%を低床化バスとするバリアフリー化整備目標が既に達成され、さらに増加している。</p>
57	64	歩行者優先道路の整備	障害のある人、高齢者等にやさしい道路として、車の進入を規制し、カラー舗装やベンチ、植栽等を整備した歩行者優先道路の整備	道路建設課	<p>【実績】 悠久山自転車歩行者専用道整備 L=0.9km W=4.0～9.0m 植栽 休憩施設 令和3年度事業完了</p> <p>【評価】 自動車との交通分離により、自転車・歩行者の安全が確保された。 快適な歩行空間の整備により、市民の健康増進に寄与した。</p>

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
58	64	バリアフリー化した歩道整備	障害のある人、高齢者等歩行者の安全確保を図るためのネットワーク化した歩道整備	道路建設課	<p>【実績】 バリアフリー歩行空間ネットワーク歩道整備 (長岡駅周辺地区) L=8.5km 平成22年度完了</p> <p>【評価】 長岡駅から周辺の主要施設に至る歩道のバリアフリー整備が完了し、ネットワーク化した安全な歩行空間が確保された。 継続して、歩道整備や歩道の大規模改修時に合わせて、基準に適合するよう整備をすすめる。</p>
59	67	避難支援プランの推進	<p>避難行動要支援者避難支援プランに基づく個々の避難行動要支援者に対する具体的な支援体制の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者名簿の作成</li> <li>・町内会、自主防災会、民生委員・児童委員、地区福祉会等地域の関係機関等との情報の共有</li> </ul>	福祉総務課	令和4年度避難行動要支援者名簿を作成し、地域の関係機関等と情報共有をした。
60	67	緊急告知FMラジオの配備	緊急時には自動的に電源が入り、避難情報等を伝達できる緊急告知FMラジオを町内会、民生委員・児童委員、福祉施設、避難行動要支援者等へ配備	危機管理防災本部	<p>【実績】 希望があった避難行動要支援者に対して、ラジオを貸与した。(新規貸与数 149台) また、市が貸与したラジオの故障や不具合に対する交換対応等を実施した。</p> <p>【評価】 町内会や避難行動要支援者等に対して、避難情報など災害時の情報伝達が可能となった。</p>

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
61	67	避難情報等電話配信サービスの提供	<p>市が「避難情報」及び「信濃川早期警戒情報」を発令する際に、事前に登録された電話に音声メッセージでお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般家庭（登録制）</li> </ul> <p>防災行政無線の戸別受信機、又は緊急告知FMラジオが貸与されていない世帯の携帯電話やスマートフォンを所有していない満65歳以上の高齢者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者利用施設</li> <li>・社会福祉施設等</li> <li>・町内会</li> </ul>	危機管理防災本部	<p>【実績】 実災害における避難情報の配信はなかった。下記による訓練を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月 登録者への配信テスト、情報伝達訓練</li> <li>・7月 浸水害対応訓練</li> <li>・8月 総合防災訓練（中止連絡）</li> <li>・11月 原子力防災訓練</li> </ul> <p>【評価】 訓練を通じて災害時における情報伝達の流れを確認することができた。</p>
62	67	地域防災力の強化推進	<p>「市民防災のしおり」、「洪水ハザードマップ」、「自主防災会結成と活動の手引き」等の配布や中越市民防災安全士の養成等による地域防災力強化の推進</p>	危機管理防災本部	<p>【実績】 年度当初に自主防災会長へ「自主防災会活動支援ガイド」を送付し、自主防災会の活動支援制度の活用を促進した。また、出前講座等の際に「洪水ハザードマップ」や「在宅避難の手引き」等、防災に関する資料を配布し、防災意識の高揚を図った。自主防災会結成率 89.87%、中越市民防災安全士 837人（令和5年3月31日現在）</p> <p>【評価】 住民の防災意識が高まり、地域防災力の向上につながった。</p>
63	67	中越市民防災安全大学	<p>地域の防災リーダーの養成と防災安全知識の修得を目的とした講座の実施</p>	危機管理防災本部	<p>【実績】 8月下旬から9月上旬までの5日間に20講座を開催し 57名が中越市民防災安全士として認定された。</p> <p>【評価】 地域の防災リーダーが育成され、地域防災力の向上につながった。</p>

第6期長岡市障害者基本計画 令和4年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和4年度実績等説明及び評価
64	67	高機能消防指令センターの充実	一般電話により高齢者、障害のある人等からの119番の通報場所が即時に判明でき、最も近い消防部隊を自動的に編成し、出動させるとともに、現場の地図及び避難行動要支援者の情報を把握	消防本部警防課	<p>【実績】 119番通報が無言でも、通報場所に最も近い消防車及び救急車を出動させている。 また、7月1日からNet119緊急通報システムの運用を開始した。(令和5年3月31日現在111人登録)</p> <p>【評価】 指令地図に通報場所のほか、避難行動要支援者情報を表示することで、対象者への災害対応がより迅速になった。 Net119緊急通報システムの導入により、GPSによる通報場所の迅速な特定が期待できる。</p>
65	67	木造住宅耐震診断費助成	木造住宅に対する耐震診断費の助成	建築・開発審査課	<p>【実績】 R4年度実績は34件であった。市政日より、リフォームフェア参加など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 R3年度に比べ件数は同程度であったが、来年度以降も制度を周知し、住まいの耐震化を進めていきたい。</p>
66	67	木造住宅耐震改修費助成	木造住宅の耐震改修工事費の助成	建築・開発審査課	<p>【実績】 R4年度実績は3件であった。市政日より、リフォームフェア参加など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 R3年度に比べ件数が増加したが、来年度以降も制度を周知し、住まいの耐震化を進めていきたい。</p>
67	68	木造住宅耐震改修設計及び工事監理費助成	木造住宅の耐震改修設計及び工事監理費の助成	建築・開発審査課	<p>【実績】 R4年度実績は3件であった。市政日より、リフォームフェア参加など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 R3年度に比べ件数が増加したが、来年度以降も制度を周知し、住まいの耐震化を進めていきたい。</p>